

ノートルダム清心女子大学日本語日本文学会 第二四回大会

2021年6月13日(日) 9時～16時

zoomによるオンライン開催

午前部 (9時～)

一、開会・代表挨拶

一、研究発表 ・『赤人集』から見る中古における山辺赤人歌享受

大森 礼子 (本学大学院博士前期課程二年)

一、研究発表 ・『風土記』におけるオホナムチの国作り ―スクナビコナとの関係を中心―

末森 裕美 (本学大学院博士前期課程二年)

一、研究発表 ・近世牛窓における神功皇后の安産信仰と桂女

花谷 美紅 (本学大学院博士前期課程二年)

一、研究発表 ・『源氏物語』の登場人物描写に関する考察 ―「曼荼羅」の性格から―

難波 礼子 (本学大学院博士前期課程二年)

午後部 (12時40分～)

一、研究発表 ・太宰治「パンドラの匣」にみられる塚本虎二「聖書知識」の影響

小林 初音 (本学大学院博士前期課程一年)

一、講演 ・在と不在 ―研究の“芽”の見つけ方―

中井 賢一 (本学文学部教授)

一、講演 ・文学に見る岡山の景勝「虫明の瀬戸」

江草 弥由起 (本学文学部講師)

一、講演 ・太宰治「斜陽」と山岸外史「人間キリスト記」―〈女〉の求める神を問う―

長原 しのぶ (本学文学部教授)

一、実践報告 ・自ら問いを立てる生徒の育成を目指して

武田 祥江 (岡山県立西大寺高等学校指導教諭)

一、閉会

*例年、閉会後行われておりました国語教育部会は、本年度中止となりました。